



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2014年8月15日発行

Contents

わがまちSai発見..... 1,2

本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界..... 3

ハロー!来・ぶらり 古本バザール・リサイクルを実施します..... 4

わがまち

はっけん

Sai 発

わかた こういち
若田光一さん
帰還記念

さいたま市宇宙劇場 に行ってきました!!

国際宇宙ステーション（ISS）で日本人初の船長を務めた若田光一さん。今年5月14日地球に無事に帰還され、8月20日には市内でミッション報告会も開催されます。今回はさいたま市出身の若田さんの帰還を中継するパブリックビューイングが行われた「さいたま市宇宙劇場」に行ってきました。

さいたま市宇宙劇場は大宮駅西口から徒歩5分、ジャック大宮というビルの3階に入口があります。

プラネタリウム

宇宙劇場のプラネタリウムは地球から見た満天の星空だけでなく、地球以外の太陽系の惑星から見た宇宙や1万年後の宇宙を投影することができます。

その秘密はプラネタリウム本体である恒星投影機と惑星投影機の他に、多くの補助投影機が一体となってコントロールされているからです。

優れた機器を使用した番組と解説により、美しい星空を楽しむことができます。

超大型映画（オムニマックス）

プラネタリウムと交互に上映される超大型映画では、画面の隅々まで鮮明な映像が楽しめます。この映画で使われているフィルムの大きさは通常の映画用35ミリフィルムの10倍もあります。ロビーのガラス越しに映写機が動く様子を見るのも楽しみのひとつです。

3階ロビー

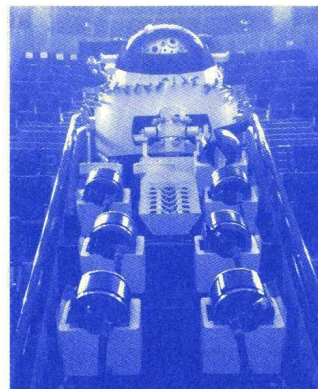
星雲などを調べることができる端末や投影中のプログラムに合わせた展示コーナー、宇宙食が買える売店などがあります。

5階ロビー

宇宙劇場に行ったら、無料で入ることができる5階展示スペースものぞいてみましょう。目玉は若田さん直筆の「書」。墨ではなくコーヒーで書いてあります。



入口では若田さんの写真が待っています



プラネタリウムの投影機

このほか、天体観望会や「星空ファンタジー」「生演奏の夕べ」といったイベントや特別プログラムが開催されています。詳細はホームページをご覧ください。

★ YACを知っていますか？

YACとは「Young Astronauts Club」の略で、日本宇宙少年団のことです。日本本部の団長は、日本人で始めてスペースシャトルに乗った毛利衛さん。世界中に組織があり、国際交流も盛んです。

宇宙劇場にはYACのさいたま支部の事務局があります。小学1年生から参加できるYACは、天体観測などの宇宙に関する活動だけでなく、化石を探しに行ったり集音器をつくったりと幅広いテーマで活動しています。

YACの入団お申し込み・お問合せはJACK大宮5階の宇宙劇場事務室まで。

宇宙劇場で働いている3人の方に お勧めの本を伺いました

おすすめ

糸賀館長

『アジアの星物語』

東アジア・太平洋地域の星と宇宙の神話・伝説

海部宣男／監修 柿田紀子・川本光子／邦訳 万葉舎
2014年

この本は、日本を含めた東アジア地域・太平洋地域の星と宇宙にまつわる神話、伝説を集めた本です。アジアの文化圏に根ざした神話、伝説は、どこか親しみやすさや懐かしさを感じるものもあるのではないのでしょうか。

カラーの挿絵も魅力的です。ぜひ一度、手にとってページをめくって見てください。

『天文学入門 カラー版』

岩波ジュニア新書

嶺重慎／編著 岩波書店 2005年

星を見て、宇宙に興味を持ったすべての人に読んでいただきたい本です。

今からおよそ137億年前に宇宙が誕生しました。そして、星が生まれ、その星が爆発して、また、新しい星が

生まれ・・・そうした繰り返しの後、太陽系が誕生し、地球上に生命が生まれ、やがて、人類が、そうして自分が生まれる。人と宇宙はつながっている。そんなことを教えてくれる本です。

おすすめ

高橋さん

『宇宙への秘密の鍵』

ルーシー・ホーキング／作 岩崎書店 2008年

ファンタジー小説は大好き！でも科学の本はちょっと苦手・・・そんな人におすすめの本です。

世界一優秀で、ちょっぴり生意気なコンピューター、“コスモス”に導かれて、宇宙冒険に出発しましょう！

ところどころにきれいな写真やイラスト付の解説ページも入っていて、冒険物語と宇宙の不思議が一緒に楽しめます。

『ロケットボーイズ』上・下

ホームー・ヒッカム・ジュニア／著 草思社 2000年

1957年10月、ソ連は世界初の人工衛星スプートニク1号を打ち上げました。スプートニク1号が空を横切るのを見上げたアメリカ人の少年は、仲間と一緒に自分たちの手でロケットを打ち上げようと奮闘します。

情熱のままに突き進む少年たちの姿にすっかり引き込まれてしまいます。そして、そんな彼らを見守り、励まし、力を貸してくれる大人たち。愛と笑いとナミダがいっぱい詰まった一冊です。

おすすめ

大友さん

『おまけのこ』

晶中恵／著 新潮社 2005年

妖（あやかし）が見える若旦那、一太郎と妖たちが難事件を解決する「しゃばけ」シリーズ第4弾。

今回は、家を軋ませる小鬼が、大好きな若旦那のためにがんばります。

さいたま市宇宙劇場

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2JACK大宮3階
TEL:048-647-0011 テレフォンサービス:048-641-1999
ホームページ: <http://www.ucyugekiyo.jp/>



入場料	種別	大人(高校生以上)	小人(4歳~中学生)
	プラネタリウム	610円	300円
超大型映画		610円	300円
	(注1) 障害者手帳をお持ちの方	300円	150円
	(注2) 団体利用	490円	240円



コーヒーで書かれている若田さん自筆の書

本棚 ぶらり

明察 天地

プラネタリウムで星の世界を楽しんだところで、昔の天体観測に思いをはせてみましょう。江戸時代の天体観測は、暦をつくることにも使われたようです。この時代の暦の話といえば、数年前話題となった『天地明察』(沖方丁/著 角川書店 2009年)が頭に浮かんだ方も多いのではないのでしょうか。江戸時代の実在の人物、渋川春海(読みは「しゅんかい」とも)の生涯を描いた作品です。主人公の清々しく、信念を貫き通す姿が印象的です。

暦といえば、その昔「大宮暦」^{注1}というものがあったそうです。『大宮市史 第3巻 中』(大宮市 1978年)によると現在残されていないので、どんな暦かは残念ながらわかっていませんが、大宮の氷川神社で作成された暦だそうです。

旧暦の季節感にも触れてみましょう。『日本の七十二候を楽しむ 旧暦のある暮らし』(白井明大/文・有賀一広/絵 東邦出版 2012年)では、よく知られている二十四節気の各節気をそれぞれ三つに分けた七十二候を紹介しています。「桃始めて笑う」「寒蟬鳴く」「菊花開く」^{注2}など季節それぞれのできごとがそのまま名前になっていて、詩的で、季節の移ろいが感じられます。

注1…読みは『広辞苑 第6版』(新村出/編 岩波書店 2008年)による

注2…文中の七十二候表記及び読みについては、紹介本『日本の七十二候を楽しむ』による

大人も楽しめる

絵本の世界

第7回



『じてんしゃにのるひとまねこざる』

H・A・レイ/文・絵 光吉夏弥/訳 岩波書店
大型絵本(1983)、岩波の子どもの本[旧版](1956)、
同[新版](1998)

今号のテーマからすれば、アメリカが世界初の有人宇宙飛行を目的に推進したマーキュリー計画が原

案の『ろけっとこざる』を紹介すべきところ。しかし今回は、同じ「ひとまねこざる」のなかから、それより前に出版された『じてんしゃにのるひとまねこざる』を取り上げよう。

「きいろいほうしのおじさん」と暮している「おさるのじょーじ」。アフリカから来た3年目の記念日に自転車を貰って大喜び。曲乗りに飽きた「じょーじ」は、新聞配達の手伝いをするに！でも調子に乗って遊んでいたら大事な自転車が壊れてしまい……。

原著は1952年にアメリカで刊行、日本での出版は1956年。当時の右開きの装丁に合わせて改編され、多くの絵が原画と逆向きに加工されていた。版型も小さめに変更、文章も縦書きに変更されている。(今は原書と同じ大きさと左開き、横書きの本になっています)

「じょーじ」がページをめくる方向へぐんぐん進んでいく様は、今も昔も変わらない。<自転車>と<ペット>という、子どもの憧れが、一杯詰まった一冊といえる。

片柳図書館

見沼区にある片柳コミュニティセンターの2階に、片柳図書館はあります。

付近は、見沼区八景（平成20年選定）に選定された「見沼代用水東縁とヒガンバナ・ノアザミ群生地」「見沼代用水東縁と加田屋の田んぼ」「万年寺と片柳の田んぼ・斜面林」「染谷ふるさとの緑の景観地」の四景や染谷花しょうぶ園があり、自然に囲まれ静かな環境です。

片柳図書館の面積は586㎡、蔵書数は約7万5千冊。平成18年5月に開館し、見沼区では一番新しい図書館です。図書館の入り口から入って左側は一般書コーナー、右側は児童書コーナーになっています。一般書コーナーでは、小説・実用書・雑誌・CD・DVDが並び、ゆったりと読書が楽しめます。児童書コーナーには、絵本や児童書、ヤングコーナーがあり、奥には靴を脱いであがることのできるコーナーもあって、親子で読み聞かせなどをする交流の場と

なっています。

また、片柳コミュニティセンターの第5集会室を利用して毎月、ボランティアの方々による定例の「おはなし会」「あかちゃんおはなし会」を行っています。また、季節ごとの児童向け行事として、工作教室やこども映画会も開催しており、地域のこどもたちに好評を博しています。

見沼代用水東縁沿いでは、桜や芝桜、あじさい、しょうぶ、ヒガンバナなど四季折々の花が咲き誇ります。旧坂東家住宅見沼くらしっく館や見沼の自然を楽しみに来られた際には、どうぞ片柳図書館にも足を伸ばしてみてください。



くつろいで
絵本が読めます

古本バザール・リサイクル を実施します。

さいたま市の図書館では、図書館友の会と協力して、古本バザール・リサイクルを開催し、保存期限の過ぎた雑誌や不用になった図書を、市民の方へ提供しています。

平成25年度は9会場で実施し、約6,000人の方にご来場いただきました。平成26年度は10会場で実施を予定しています。ぜひご来場ください。

日 程	会 場	連絡先
9 / 15 (月・祝)	大宮西部図書館 2階ギャラリー	大宮西部図書館
10 / 4 (土)	さいたま市文化センター	武蔵浦和図書館
10 / 11 (土)・12 (日)	プラザイースト 1階エントランスホール	東浦和図書館
10 / 18 (土)	春野図書館 2階会議室	春野図書館
10 / 18 (土)	プラザウエスト2階多目的ルーム(イベント名は古本市)	桜図書館
10 / 18 (土)・19 (日)	北浦和図書館地下1階	北浦和図書館
10 / 25 (土)	大宮図書館 2階会議室	大宮図書館
10 / 26 (日)	中央図書館 イベントルーム	中央図書館
11 / 1 (土)	岩槻本町公民館	岩槻図書館
12 / 6 (土)	片柳コミュニティセンター2階第5集会室(図書館のとなり)	春野図書館

※7月時点の予定です。詳細については各連絡先へお問い合わせください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

馬宮図書館 625-8831	桜木図書館 649-5871	西分館 854-8636	南浦和図書館 862-8568
二橋分館 625-4319	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735	東浦和図書館 875-9977
大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	桜図書館 858-9090	岩槻図書館 757-2523
北図書館 669-6111	七里図書館 682-3248	大久保東分館 853-7100	岩槻駅東口図書館 758-3200
宮原図書館 662-5401	片柳図書館 682-1222	北浦和図書館 832-2321	岩槻東部図書館 756-6665
大宮図書館 643-3701	与野図書館 853-7816	武蔵浦和図書館 844-7210	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 前号に引き続き、宇宙に関するテーマでお届けしました。子どものころに私も望遠鏡で木星の輪を見て興奮したのを思い出しました。ぜひ「宇宙劇場」で、宇宙のロマンを堪能してみてください。

次回発行予定：11月15日(年3回発行)

